

水稻病害虫発生調査結果

第2号 <8月16日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

▶病害虫調査結果（調査月日：8月13日 調査ほ場：たつの市5ほ場 太子町1ほ場）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病(葉いもち)	一部の圃場で発生が確認されました。
紋枯病	一部の圃場で発生が確認されました。
縞葉枯病	今回の調査では確認されませんでした。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	セジロウンカ及びヒメトビウンカを確認しました。
カメムシ類	今回の調査では確認されませんでした。 * 6ほ場すべてで出穂していませんでした。
イネカメムシ	今回の調査では確認されませんでした。

【近畿地方向こう1か月(8月10日～9月9日)の天候の見通し】（大阪管区気象台発表）

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・ 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が80%です。
- ・ 降水量はほぼ平年並でしょう。

2 害虫防除のポイント

令和6年8月2日、兵庫県病害虫防除所が斑点米カメムシ類の注意報を発表しました。

以下を参考にして適切に防除してください。

(1) 発生状況

7月下旬のすくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生地点率が73.9%と昨年同時期の50.0%に比べ高く、県内で広く斑点米カメムシ類が確認されています。

(2) 今後の発生予想

今後1ヶ月の気温が高く推移するため、出穂（しゅっすい）期以降の水田では、斑点米カメムシ類の加害に好適な条件になります。

(3) 薬剤防除の留意点

- ・ 出穂直前の畦畔除草は、斑点米カメムシ類を本田に追い込むので控えてください。
- ・ 薬剤防除は、穂ぞろい期～乳熟（にゅうじゅく）期にかけて行ってください。
- ・ イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるため、出穂期に本田で発生が見られたら、薬剤防除を検討してください。

出穂期とその7～10日後の2回防除が被害抑制に効果的です。



イネカメムシ

農薬等は JA 兵庫西の 2024 年度水稻栽培暦を参考にしてください。